

### 3. 男女共同参画社会について

#### (1) 第2次奈良県男女共同参画計画の基本目標についての印象

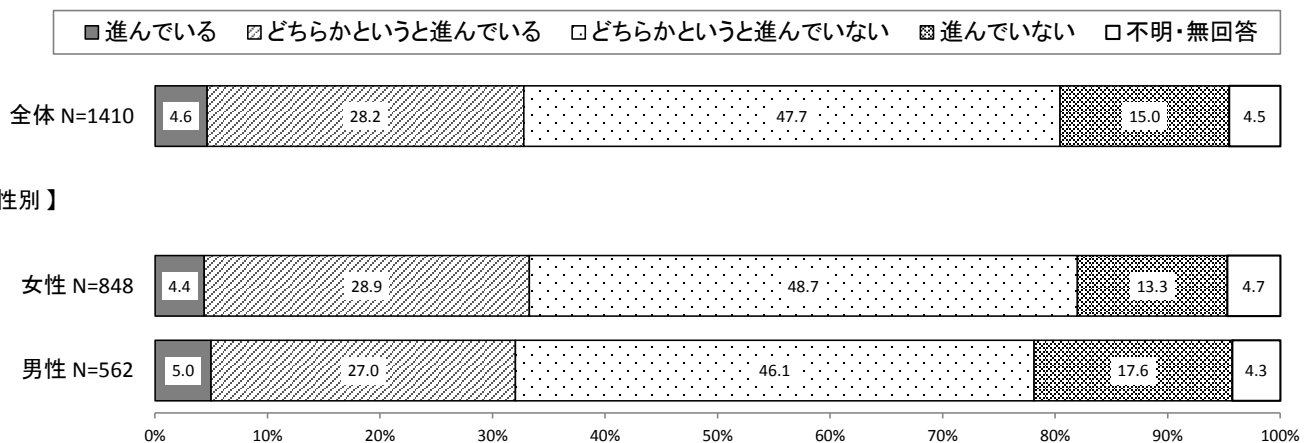
問 24-1 あなた自身の生活や周りの環境から判断して、以下の項目について取り組みが進んでいると思いますか  
(○はそれぞれ1つずつ)

第2次奈良県男女共同参画計画（平成18～27年度）の基本目標5項目のうち「女性に対する暴力の根絶など男女の人権の尊重」は「進んでいる」を含む回答（「進んでいる」と「どちらかというに進んでいる」の合計）が最も多く43.4%であるが、「家庭と仕事・地域活動のバランスがとれ、男女がともに支え合うライフスタイルの実現」では「進んでいる」を含む回答が最も少なく24.6%にとどまっている。その他の3目標では「進んでいる」を含む回答は約3割である。

#### 【性別】

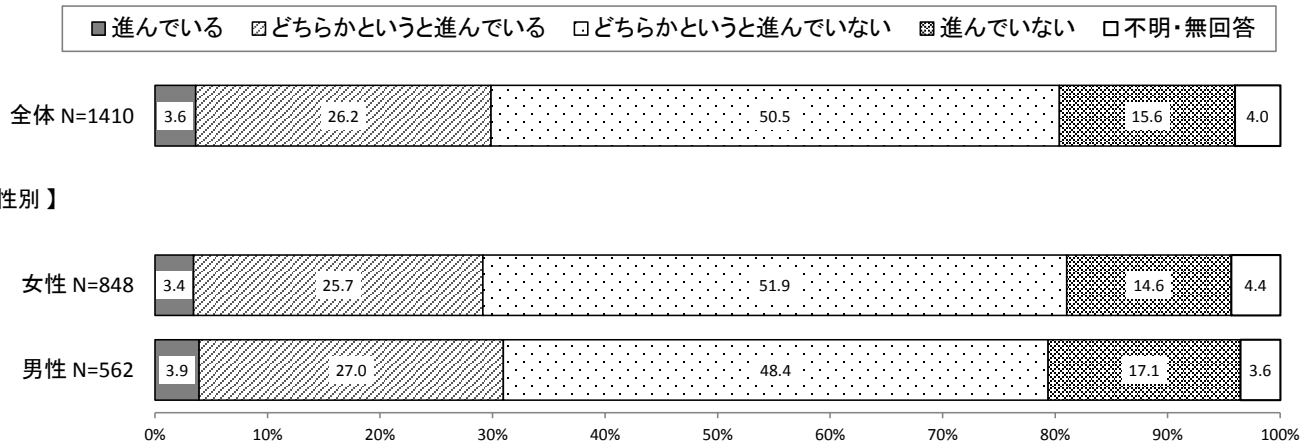
「職場や地域などあらゆる分野における意思決定の場への女性の参画」以外の4目標では、「進んでいる」を含む回答が男性に比べ女性では少なく、特に「女性に対する暴力の根絶など、男女の人権の尊重」については、「進んでいる」と回答する女性の割合は、男性よりも7.1ポイント少ない。

#### ① 職場や地域などあらゆる分野における意思決定の場への女性の参画



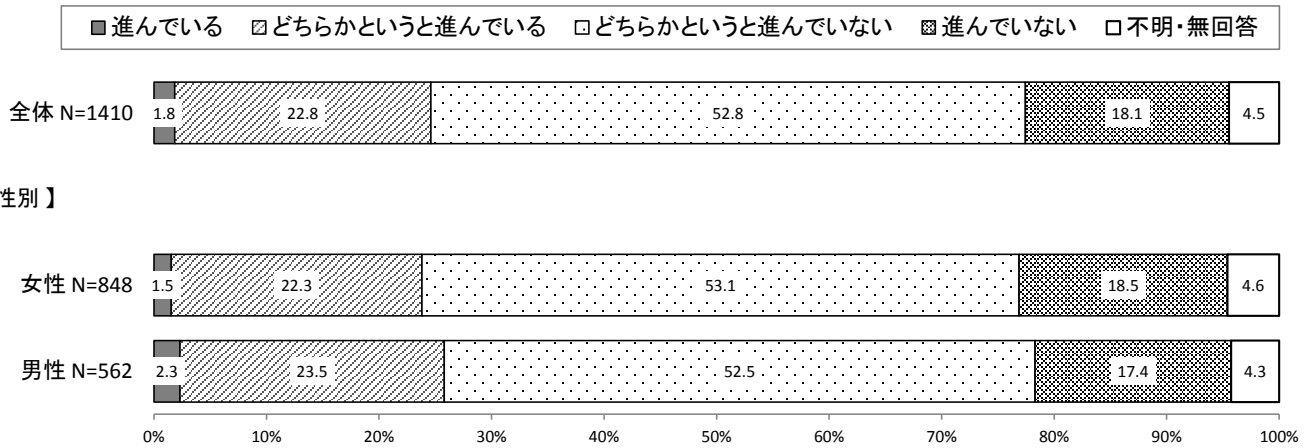
#### 【性別】

#### ② 男女が意欲と能力に応じていきいきと働ける環境

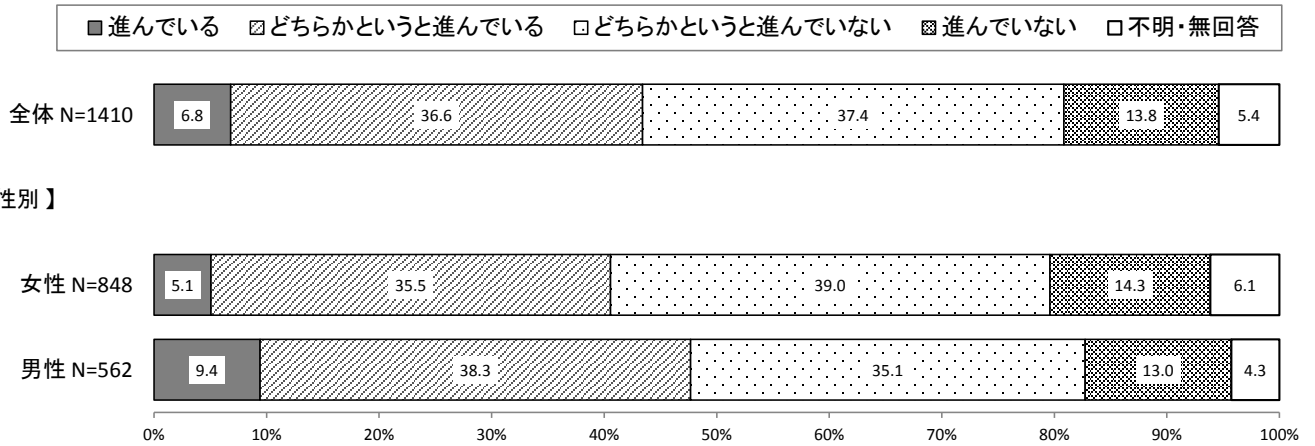


#### 【性別】

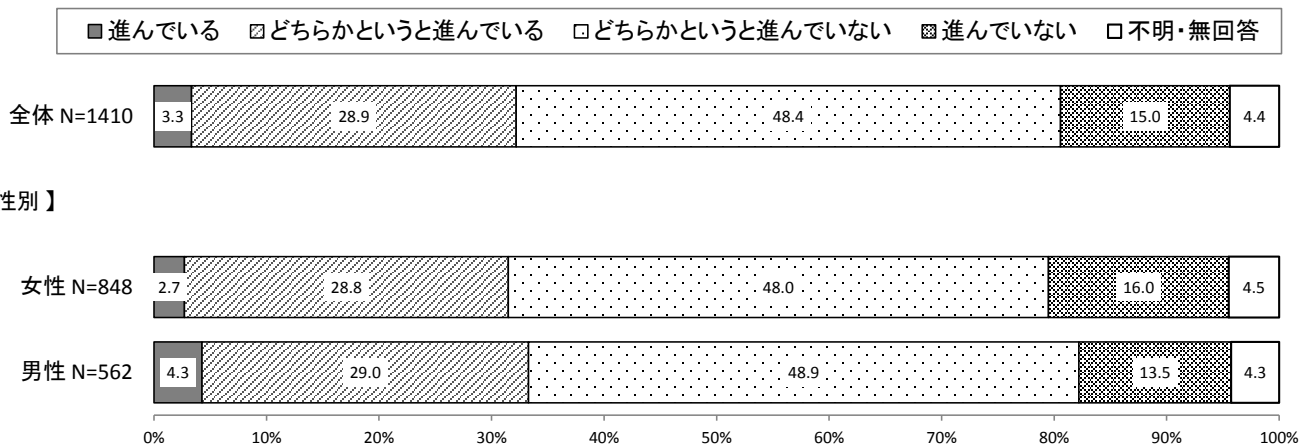
③家庭と仕事・地域活動のバランスがとれ、男女がともに支え合うライフスタイルの実現



④女性に対する暴力の根絶など、男女の人権の尊重



⑤固定的な性別役割分担意識の払しょくなど、男女共同参画社会実現に向けた意識の向上



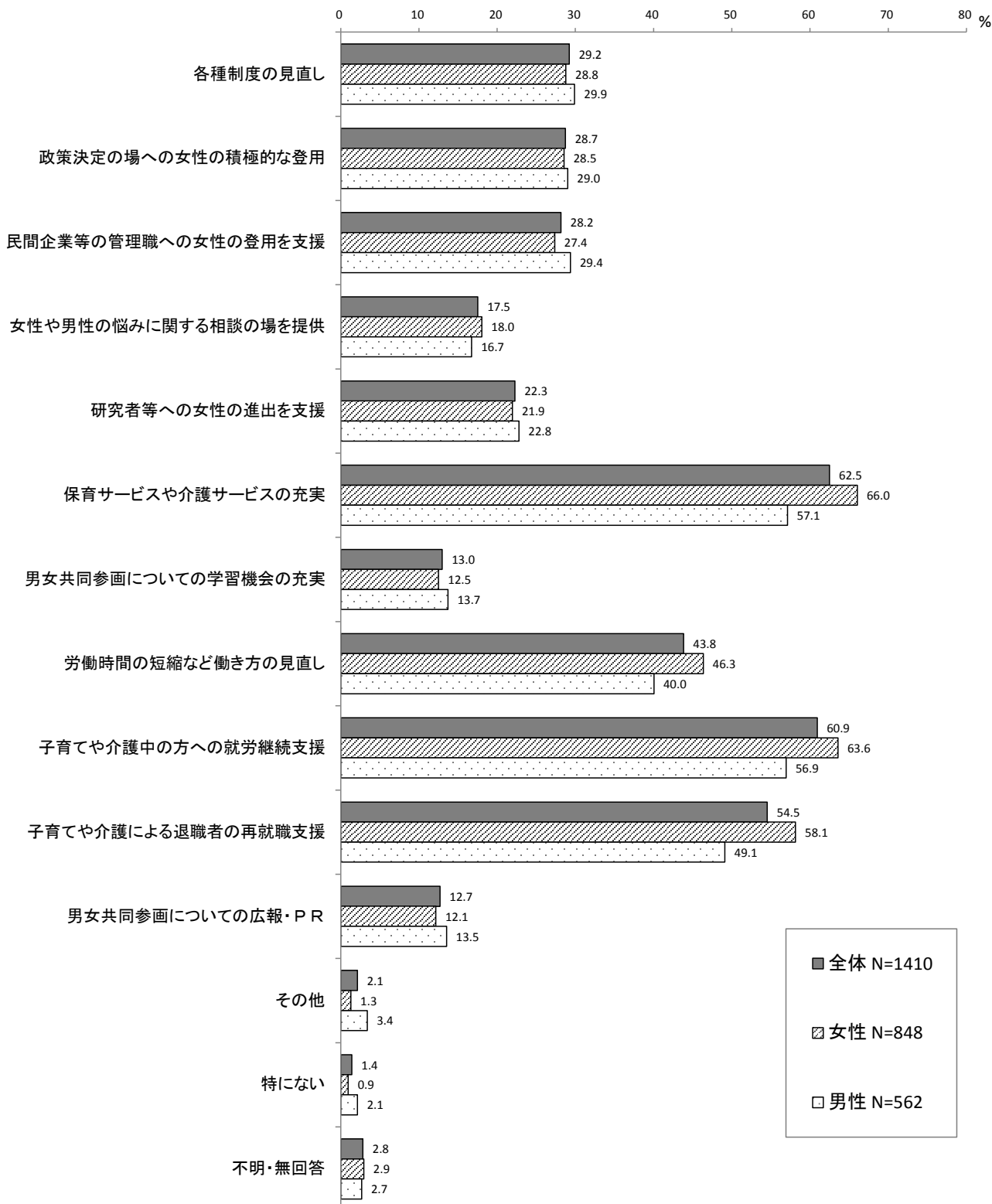
## (2) 男女共同参画社会を実現するために、今後行政が力を入れるべきこと

問 24-2 男女共同参画社会を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか (〇はいくつでも)

男女共同参画社会を実現するために行政が力を入れていくべきこととして、「保育サービスや介護サービスの充実」が62.5%と最も多く、次いで「子育てや介護中の方への就労継続支援」が60.9%、「子育てや介護による退職者の再就職支援」が54.5%となっている。

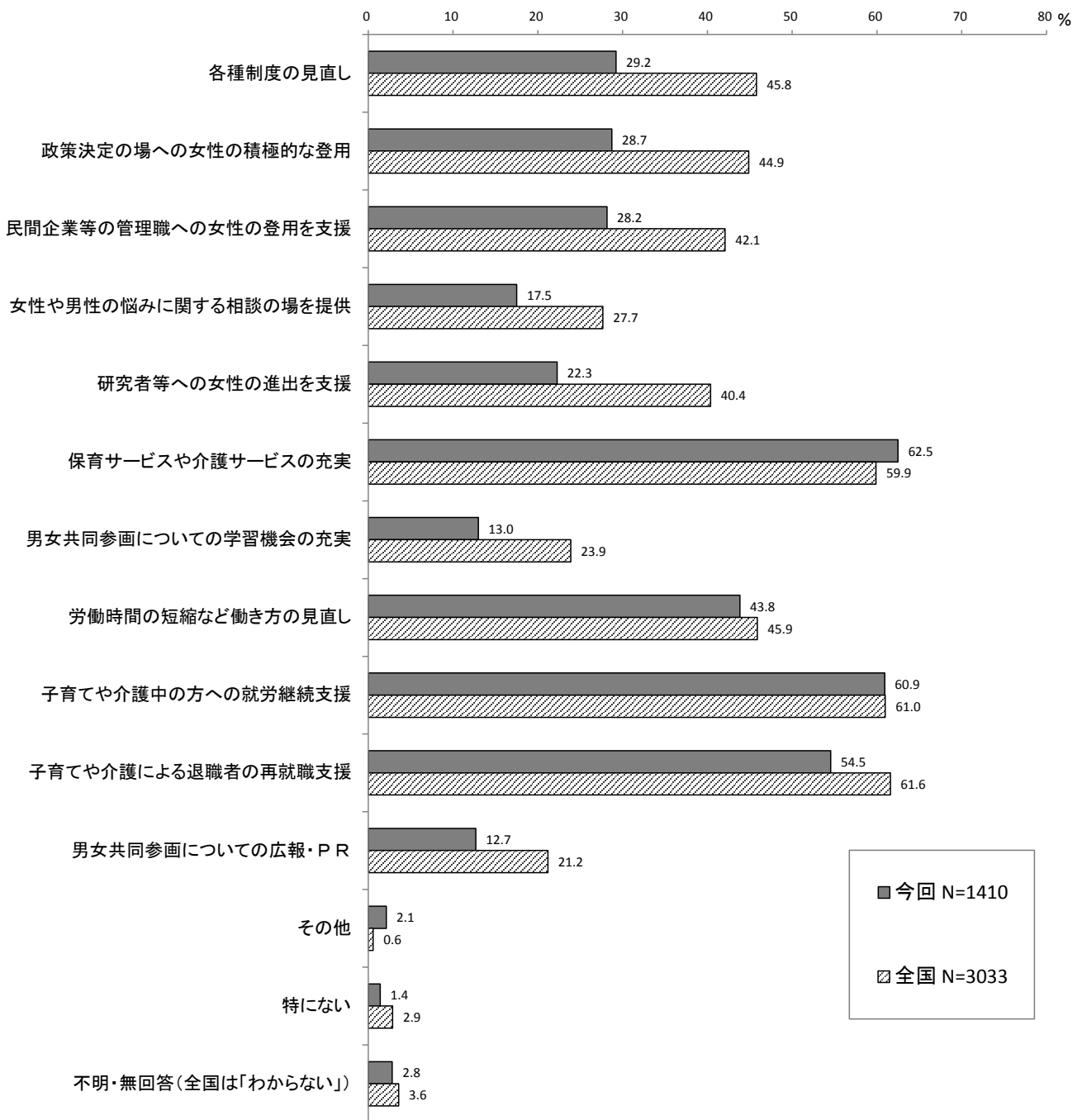
### 【性別】

男女ともに上位3項目の順位は同じである。



【全国比較】

奈良県・全国の上位3項目は共通しているが、奈良県では「保育サービスや介護サービスの充実」が最も多く、全国では「子育てや介護による退職者の再就職支援」が最も多い。全国に比べて特に少ない項目は、「研究者等への女性の進出を支援」、「各種制度の見直し」、「政策決定の場への女性の積極的な登用」であり、それぞれ約16～18ポイント少ない。



※全国：平成24年度 男女共同参画社会に関する世論調査